

令和４年度あんしんケアセンター事業評価について(国指標)

【国の指標】

１ 事業評価結果（令和４年度実施）

国が策定した全国統一の評価指標により、各あんしんケアセンターの業務の実施状況を把握した。
事業評価結果は、以下のとおりである。

なお、評価にあたっては、一部を除き令和３年度の取組みを対象とし、全調査項目のうち、評価指標の対象項目のみ抜粋している。

（１）市町村指標（資料３－２－①）

（単位：%）

項目		令和４年度	【参考】令和３年度	
		市	市	全国
組織・運営体制等	①組織・運営体制	９２．３	９２．３	７５．９
	②個人情報の管理	１００．０	１００．０	８８．３
	③利用者満足度の向上	１００．０	１００．０	８６．０
個別業務	①総合相談支援	１００．０	１００．０	８４．８
	②権利擁護	１００．０	１００．０	８７．４
	③包括的・継続的ケアマネジメント支援	１００．０	１００．０	６９．２
	④地域ケア会議	８４．６	８４．６	６８．０
	⑤介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	１００．０	１００．０	６８．４
事業間連携（社会保障充実分）		１００．０	１００．０	８５．６

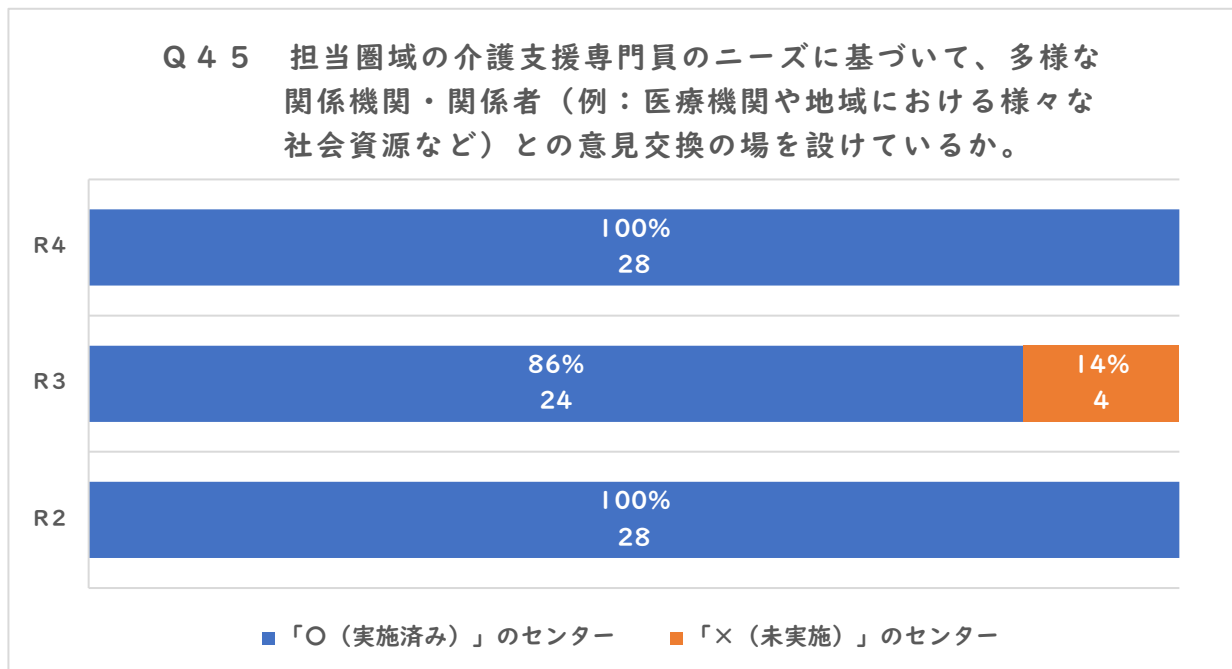
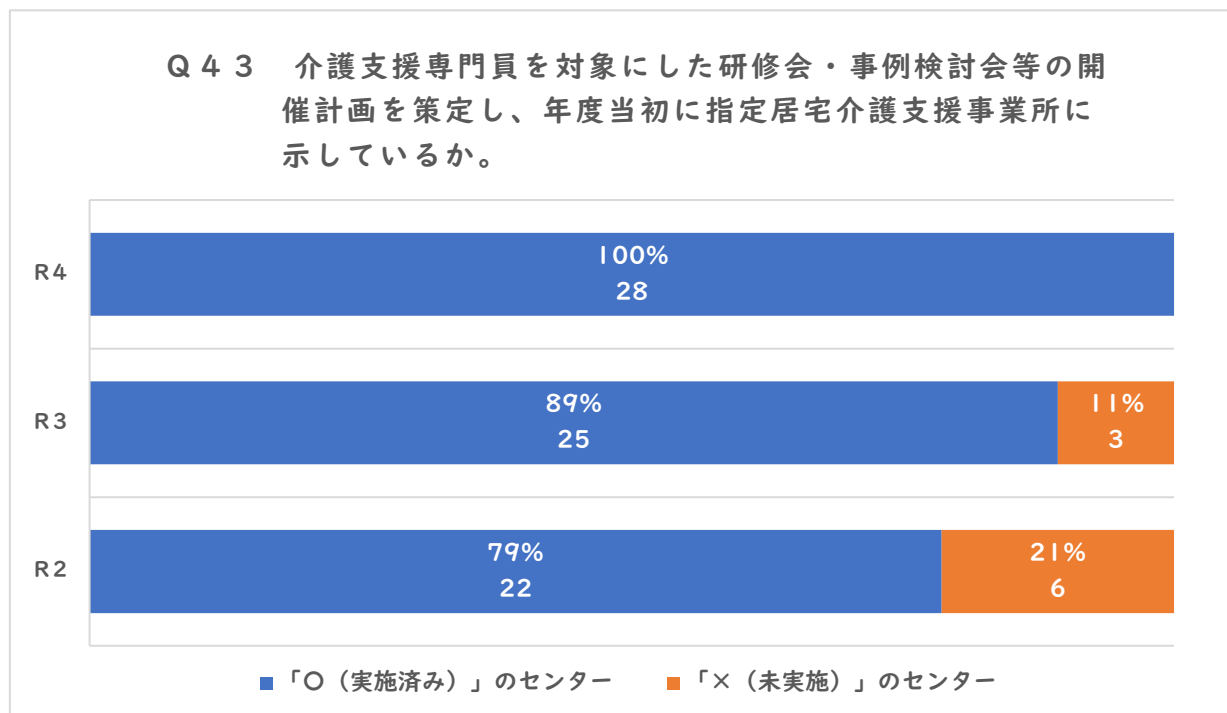
（２）センター指標（資料３－２－②）

（単位：%）

項目		令和４年度	【参考】令和３年度	
		市	市	全国
組織・運営体制等	①組織・運営体制	９７．０	９７．０	８３．０
	②個人情報の管理	１００．０	１００．０	８６．０
	③利用者満足度の向上	１００．０	１００．０	９５．９
個別業務	①総合相談支援	１００．０	１００．０	９１．８
	②権利擁護	１００．０	１００．０	９０．３
	③包括的・継続的ケアマネジメント支援	１００．０	９５．８	７９．４
	④地域ケア会議	１００．０	８３．３	８１．５
	⑤介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	１００．０	９７．９	８１．４
事業間連携（社会保障充実分）		１００．０	９５．０	８４．８

2 昨年度と比較し、改善した主な項目（資料３－２－②）

（１）介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会の開催計画の策定及び周知など

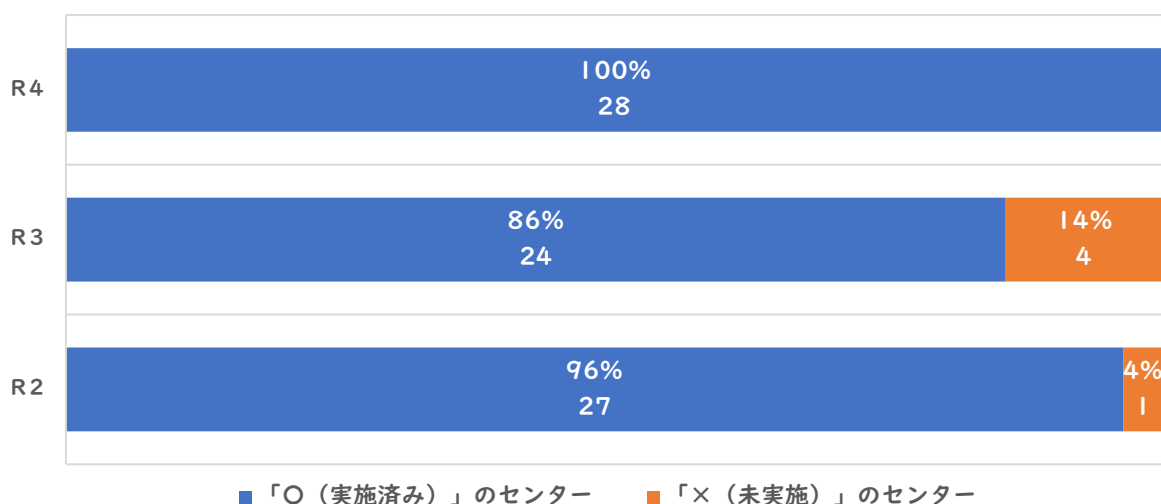


【改善理由】

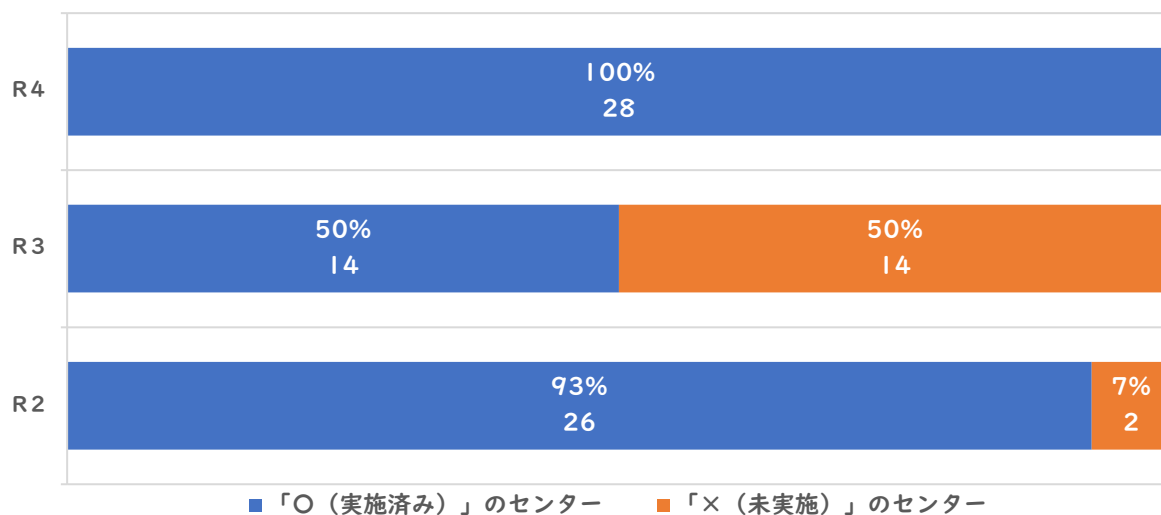
対面やオンラインを活用した打ち合わせや連絡調整など、新しい生活様式が定着しつつあり、研修計画等の周知や意見交換がしやすくなっているため。

(2) 地域ケア会議

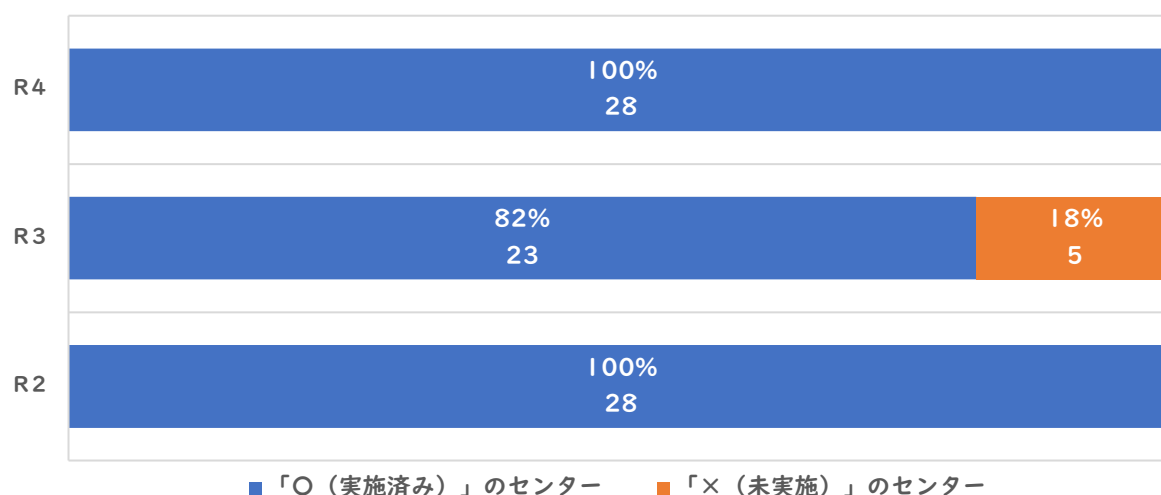
Q 5 0 センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。



Q 5 1 センター主催の地域ケア会議において、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域課題に関して検討しているか。



Q 5 3 センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。



【改善理由】

相談内容が複雑化し、困難事例となるケースが多くなり、個別事例に加え、地域課題や重度化防止の観点で地域ケア会議を行うセンターが増えているため。